

「超パチ」のデザイン決定 「フェスタ」レイアウトを検討

「ニコニコ超会議2016」（4月29、30日、千葉・幕張メッセ）に日遊協が出展するブース「パチンコ&パチスロフェスタ2016」のタイトルロゴ「超パチ」のデザインが決定し、発表された。ブース1、2階のレイアウトについて、来場者に試打機がよく見え、またその姿がよりアピールするように検討が加えられた。試打機はパチンコ・パチスロ40台が設置されることになっている。フェスタの協賛募集の内容を確認して、さらに呼びかけを強めることとし、ステージイベントの進行は今後詰めることになった。

日工組で検討されている「ちょいパチ」は、40分の1までの高精度



率に特化し、大当たりを体感でき、より少ない遊技料金と短時間で遊べるなど機種の内容、展開など具体化したので、日遊協は「フェスタ」

社会貢献・環境対策 委員会

3月18日
東京ビッグサイト
出席委員12人

「介護関連展」を視察

新年度の事業計画の1つ「遊技機を利用した社会貢献事業の調査研究・企画」の一環として、東京ビッグサイトで開催された「国際介護用品展／介護施設産業展／介護施設ソリューション展」を視察した。介護用品、高齢者向けサービス・施設が一堂に集まった専門展で、この中のレクリエーションゾーンには豊丸産業(株)が高齢者用の医療パチンコ機として開発している「トレパチ」や、(株)プロバホールディングスの脳のリハビリ用ゲーム機器などの出展があり、介護・デイケアサービス施設へ向けた機能訓練

での試打、業界内への発表などPRで協力していくことになった。

2018年度事業計画について協議し、「フェスタ」「遊技機アワード」「遊技機番号管理」「多種多様な遊技機」など予算化を決め、18日の理事会に提出することになった。日工組の複数メーカーが開発中の「ちょいパチ」について、進捗状況等が報告された。

用遊技機の調査を行った。

PSIO・不正対策室会議

ファンからは784件

不正対策室会議（室長・伊東愼吾日遊協常務理事）は3月22日、日遊協本部会議室で委員ら13人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2016年2月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から34件、一般ファンから784件の入力があり合計818件となり、2015年2月と比べると221件増（2015年2月597件）となった。大当たりしているときに、突然

遊技がストップしたり、遊技機が異常な動きをすると指摘する情報が毎月かなりあり、ホールの対応メーカーとの連絡などの必要性が協議された。

健全化推進機構社員総会

事業計画などを可決

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（五木田彬代表理事）は3月9日、東京・神田の情報オアシス神田で臨時社員総会を開き、2016年度の事業計画（予算）案、社員の経費負担の件等を可決した。立入検査活動について、悪質巧妙化している回胴式遊技機の不正改造の手法に対処するため、あらゆる検査手法を駆使し、遊技機1台あたりに時間をかけて検査することに加え、昨年6月からの遊技機性能調査も継続実施していくとし、16年度の目標店舗数を20000としている。16年度予算は4億2000万円を予定、社員14団体で負担する。

なお、15年度は負担額の一部を機構が剰余金で充当したため、ホール側の負担は1台あたり30円だったが、16年度は元に戻って1台あたり50円となる見込み。

人材育成委員会

3月11日
本部会議室
出席委員6人

「2部屋、時間差」が成功 合同説明会

2016年度事業計画を審議し、店長・管理職能力開発講習、女性活躍推進フォーラム、ぱちんこ産業合同説明会の3計画を確認した。能力開発講習は7月から来年3月まで計9回を予定し、店長候補・管理職を参加対象とする。女性フォーラムは本部開催4〜5回、九州支部と共同の九州開催2回を見込む。合同説明会は来年3月7日のリクナビLIVEへの参加を予定する。

3月1日に開催した「ぱちんこ産業合同説明会」、昨年从今年2月にかけて3回開催した「女性活躍推進フォーラム」のそれぞれ総括を行った。合同説明会は当初目標の500人を突破して700人が来場した。今回はブース内を2分し、2部屋で時間差をつけて講演したので、途中入場者がなく最初から最後まで聞いた学生が大幅に増えたこと、講演時間が15〜20分と短く、他のブースの講演の空き時間に立ち寄れた学生が多く見ら

れたこと、パンフレットの展示方法が良かったこと等が評価された。

一方で、「何のブースかわからない」「どこの会社ですか?」と聞く学生が多くみられたこと、講演を聞き終えてノベルティグッズを選んでいる人垣と入れ替えの入場者でごったがえしたこと等の反省点が挙げられた。また、「アミューズメント業界のブースなのに楽しさがにじみ出てこない。次回からはもっと遊び心が必要」との声があった。

女性活躍推進フォーラムについては、派遣した企業の委員から「楽しそうだった」「同じような年代の女性が会社におらず、自分がスキルのレベルにあるのか



◀来期の事業計画を協議した広報調査委員会

把握できてよかったと思う」「意欲が高まったようだ」「いい刺激になったと思う」など肯定的な意見が占めた。

広報調査委員会

3月22日
本部会議室
出席委員等11人

他委員会と連携強化 事業計画は5つの柱で

2016年度事業計画として、①日遊協ホームページに掲載中の業界データベースの更新 ②業界情報まとめ(一般向け)5分でわかるぱちんこ産業、日遊協会員向け「遊技業界の基礎知識」 ③「2016年ファンアンケート調査」④広報誌編集のバックアップ ⑤ファン雑誌・WEBメディア交流会の実施——を確認した。

このほかに、他の専門委員会との連携を深め、イベントなどで広報の立場から有機的に協力していくことを話し合った。他の専門委員会が計画する来期の主なイベントには、「女

性活躍推進フォーラム」「ぱちんこ産業合同説明会」(以上、人材育成委員会)、「共生の森(海岸防災林の再生)」「日遊協共生の森(埼玉・嵐山町の里山造成)」(以上、社会貢献・環境対策委員会)、「超パチンコ&パチスロフェスタ2016」(遊技機委員会)などが予定されている。

RSN第13回理事会

「従業員用ポスター」検討

パチンコ依存問題の相談機関である認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)は3月30日、東京・市谷の遊技会館で第13回理事会を開いた。西村直之代表理事は「RSNは4月になると創立以来ちょうど丸10年になります。今後も皆さまのご意見を伺いながら進めて参ります」と挨拶した。

今回の理事会は決議事項はなく、2015年度活動の中間報告、全商協RSN支援室の活動概要の報告が行われた。依存問題はファンだけではなく従業員にも依存リスクがあり、その注意喚起のために従業員向けの啓発ポスターを作成する案が出され、今後検討していくことになった。